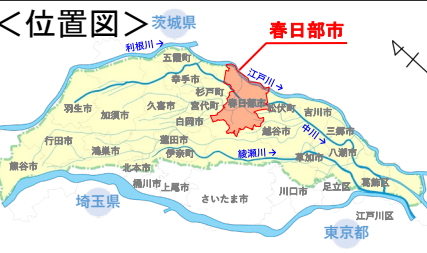
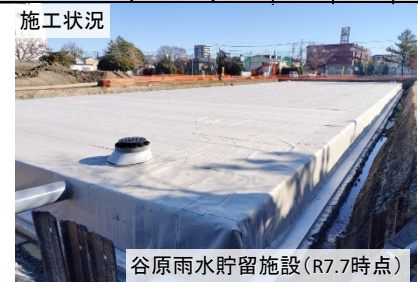


○春日部市では、「**氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**」として、内水氾濫に対応するための排水ポンプ施設の整備、雨水管きょ施設、雨水貯留施設の整備を行います。「**被害対象を減少させるための対策**」として、特定都市河川浸水被害対策法に係る検討・調整を実施します。また、「**被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**」として、小型浸水センサの設置により浸水箇所を早期に把握し、早期復旧・復興に努めます。



●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

対策内容	対象地区	主体	進捗率				
			20%	40%	60%	80%	100%
①排水ポンプ施設の整備	①-1 緑町ポンプ場	市					
	①-2 藤塚ポンプ場	市		50%			
②排水ポンプ施設の検討・整備	②-1 土井ポンプ場	市					
	②-2 備後ポンプ場	市					
③雨水管きょ施設の整備	③-1 谷原排水区(管渠)	市			100%		
	③-2 会之堀第一幹線	市		60%			
④雨水貯留施設の整備	新方川・会之堀川流域 (谷原雨水貯留施設)	市			100%		



※ 国による「河川整備【中川】」、県による「河橋梁架換・樋門改築・堤防嵩上【新方川】・河道掘削【会之堀川、大落古利根川】
家庭貯留施設整備」の進捗状況は別紙のとおり

●被害対象を減少させるための対策

- 令和6年度は、流域水害対策計画の策定に向けた調整を行い、令和7年3月に計画が策定されました。
- 今後は、貯留機能保全区域の設定に向けて関係機関と協議します。

流域水害対策計画の策定

令和7年3月策定済

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 令和7年度に「雨水出水浸水想定区域図」を作成し、市ホームページで公開。
- 市内の道路冠水常習地点に浸水センサーを道路部局、河川部局において合計15箇所設置。道路冠水の早期把握に活用。

令和6年度設置済(15箇所)

